

ARTLUMBER LIF

インテリアボックス収納

[アートランバー リフ]

取扱説明書

必ずお読みください

NANKAI
NANKAI PLYWOOD

南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業グループ 首都圏 第1・2・3チーム TEL(087)825-3621 FAX(087)825-3645

東日本営業グループ 北海道・東北営業チーム TEL(087)825-3632 FAX(087)825-3695
関東甲信越営業チーム TEL(087)806-3660 FAX(087)825-3645
中部営業チーム TEL(087)825-3622 FAX(087)825-3646

西日本営業グループ 近畿営業チーム TEL(087)825-3623 FAX(087)825-3647
中四国営業チーム TEL(087)825-3624 FAX(087)825-3648
九州営業チーム TEL(087)825-3625 FAX(087)825-3649

特需営業グループ 特需 第1・2・3チーム TEL(087)825-3662 FAX(087)825-3669

■ご使用になる前に必ずこの「取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。

間違った取り扱いを行ないますと製品の品質劣化や人への損傷につながる可能性があります。本書にそわず取扱いを行なった場合については、当社での保証はしかねますのでご注意ください。

■お読みになったあとは、大切に保管し必要な時にお読みください。

警告表示の種類と内容

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取り扱いについて次のような警告表示をしています。内容を、ご理解の上、正しく安全にお使いください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次レベルで説明しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害(※1)を負うことが想定されるか、物的損害(※2)の発生が想定される危害・損害の程度を示す。

(※1)傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、ケガやけど・感電などをさす。
(※2)物的傷害とは、家屋・家財に関わる拡大損害をさす。

本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。



「してはいけない」を示します。



「必ず行なっていただくこと」を示します。

注意



● **製品にのったり、ぶら下がったりしない。**

本体や扉にのったりぶら下がったりしないでください。破損・落下・転倒してケガをするおそれがあります。



● **扉・引出しの可動部や隙間には手を入れない。**

手をはさんでケガをするおそれがあります。特に小さなお子様には充分ご注意ください。



● **扉・引出しの開閉は静かに行なう。**

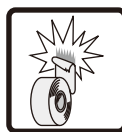
扉や引出しの開閉は静かに行ない、必要以上に開かないでください。扉や引出しが破損・落下し、ケガをするおそれがあります。



● **耐荷重の目安値よりも重いものをのせない。**

重量物をのせると棚板・引出しが変形・破損・落下し、ケガをするおそれがあります。
(裏面「耐荷重の目安値」をご参照ください。)

ご使用上のおお願い



● **粘着テープ(養生テープ・セロハンテープ・シール等)は貼らない。**

表面化粧がはがれるおそれがあります。



● **製品に直接水をかけない。**

製品に直接水をかけないでください。表面化粧のはがれや反りの原因となります。



● **直射日光に当てない。**

製品劣化の原因となります。カーテンなどを設置できるように設計してください。



● **極端な温度差、湿度差はさける。**

温度差・湿度差は極端にならないようにしてください。扉の反りの原因となります。



● **油やインクの付着に注意する。**

水・油・インク・薬品などが付着した場合はすぐに拭き取ってください。
放置するとシミや変色の原因となります。

お手入れ



● **日常のお手入れ方法**

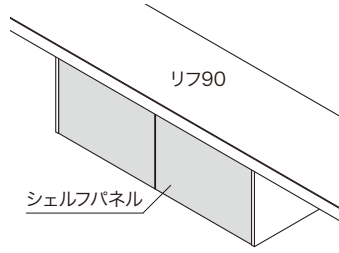
乾いた柔らかい布で乾拭きする。

● **汚れがひどい場合**

中性洗剤を水で薄めたものを布にしみ込ませ、強く絞って拭き取り、よく乾燥させる。

扉の調整方法

■ シェルフパネル



シェルフパネルの左右の位置を調整（吊元：左側の場合）

①のネジを左右に回してシェルフパネルの左右の位置を調整してください。

吊元	ネジ①	シェルフパネル
左側	右回し →	右に動く
	左回し ⇐	左に動く
右側	右回し →	左に動く
	左回し ⇐	右に動く

※吊元：右側の場合は左表を参照ください。

① シェルフパネル側のネジを回す

シェルフパネルとシェルフボックスの隙間を調整

②のネジをゆるめシェルフパネルを前後に動かして調整し、適正な位置で締め直して固定してください。

② シェルフボックス側のネジを回す

シェルフパネルの上下を調整

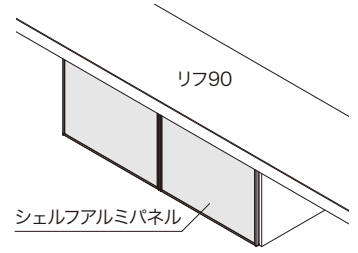
座金にある③のネジをゆるめシェルフパネルを上下に動かして調整し、適正な位置で締め直して固定してください。

③ 上下調整ネジを回す

ご注意

扉の調整後必ず2~3回開閉し、確実に付いていることをご確認ください。

■ シェルフアルミパネル



シェルフアルミパネルの左右の位置を調整（吊元：左側の場合）

①のネジを左右に回してシェルフアルミパネルの左右の位置を調整してください。

吊元	ネジ①	シェルフアルミパネル
左側	右回し →	右に動く
	左回し ⇐	左に動く
右側	右回し →	左に動く
	左回し ⇐	右に動く

※吊元：右側の場合は左表を参照ください。

① シェルフパネル側のネジを回す

シェルフアルミパネルとシェルフボックスの隙間を調整

②のネジを左右に回してシェルフアルミパネルの前後の位置を調整してください。

吊元	ネジ②	シェルフアルミパネル
左側	右回し →	奥に動く
	左回し ⇐	手前に動く
右側	右回し →	奥に動く
	左回し ⇐	手前に動く

※吊元：右側の場合は左表を参照ください。

② シェルフボックス側のネジを回す

シェルフアルミパネルの上下を調整

座金にある③のネジを左右に回してシェルフアルミパネルの上下の位置を調整してください。

吊元	ネジ③	シェルフアルミパネル
左側	右回し →	下がる
	左回し ⇐	上がる
右側	右回し →	下がる
	左回し ⇐	上がる

※吊元：右側の場合は左表を参照ください。

③ 座金のネジを回す

耐荷重の目安値

表示のkg数以下の荷重でご使用ください。

下記は耐荷重の目安値であり、保証値ではありません。

パーツ	条件	耐荷重の目安値
リフ90	1000mmピッチ以下で補強	120kg (ただし、荷重直下にウッドレグ・床置きボックスがあること)
	2000mmピッチ以下で補強	60kg
	2000mmピッチ以上	不可
	エンドキャップ納め	補強位置より300mm以内 20kg

パーツ	条件	耐荷重の目安値
シェルフボックス A・B	内部可動棚	30kg
	W1020 W510	全体で 60kg (ベースユニットにて床置きの場合 120kg)
ドロワーユニット	上部引出し	5kg
	下部引出し	10kg
シェルフ	W500	30kg
	W1000	25kg